

新しいコロナワクチン「安全」 レプリコン開発の米社長緊急提言

10/8 共同通信



「レプリコン」という新しいタイプの新型コロナウイルスワクチンを開発した米アークトゥルス・セラピューティクス社のジョセフ・ペイン社長が8日、共同通信のインタビューに応じ、日本国内の一部に新しいワクチンへの懸念があることに関連し「何年もデータを集め、長期的な効果や安全性を文献で発表したい」と語った。

ワクチンは商品名「コスタイベ」。同社と日本の「Meiji Seika ファルマ」が共同で開発した。10月に始まった定期接種で採用されている。メッセンジャーRNA (mRNA) という遺伝物質を投与する点は従来のワクチンと同じだが、mRNA が体内で複製されるのが特徴。2020年に開発を始め、アークトゥルス社にとって初めて実用化した製品だという。

ペイン氏は、mRNA ワクチンの安全性は接種量に緊密に関係しているとした上で「mRNA が複製されるコスタイベは、従来のワクチンより接種が少量で済むので安全だ。臨床試験（治験）でも重篤な副反応は確認されなかった」と述べた。

開発製薬会社幹部が接種 「レプリコン」ワクチン 新型コロナ

今秋の新型コロナウイルスワクチンの定期接種で新しく採用されたレプリコンワクチンについて、開発した企業の一つである米アークトゥルス・セラピューティクス社のジョセフ・ペイン社長が8日、共同通信のインタビューに応じ、「(遺伝物質の)メッセンジャーRNA (mRNA) を使った従来のワクチンよりも接種が少量で済むので、より安全だ」と語った。同社は mRNA や、体内で mRNA が複製されるレプリコンと呼ばれる仕組みを使い、ワクチンや医薬品を開発している。日本の「Meiji Seika ファルマ」と共同で開発したレプリコンワクチンの「コスタイベ」は、アークトゥルス社にとって初めて実用化した製品という。



COVID-19 ワクチン・ワクチンに関する厚生労働省の最新情報

開発製薬会社幹部が接種

「レプリコン」ワクチン 新型コロナ

医療機関で「レプリコン」ワクチンを接種する
「Meiji Seika ファルマ」の小林大吉郎社長ら

10月8日 東京都内

<https://www.47news.jp/11597063.html>